

シロエゾ通信

季節情報誌
第46号
R4. 12. 16

発行：北海道釧路総合振興局産業振興部林務課

〒085-8588 釧路市浦見2丁目2-54

TEL：0154-43-9208

FAX：0154-41-2061

URL：<https://www.kushiro.pref.hokkaido.lg.jp/ss/rnm/>

3年ぶり！木育・森づくりフェアを開催！

新型コロナウイルス感染症の影響により、令和元年の開催を最後に中止となっていた「木育・森づくりフェア」が3年ぶりにイオンモール釧路昭和サンコート広場で11月19日（土）20日（日）の2日間開催されました！

新型コロナウイルス感染症の影響などにより、3年前に比べると来場者数は減少したものの、**341**名の方にご来場いただき、ありがとうございました。

3年ぶりの開催となる今回は、パネル・木製品展示、森のお仕事コーナー、木育マイスター道東支部による木育広場、木工作体験コーナーを設置し、来場者の方に様々な「木育」を体験してもらいました。



パネル展示



木製品展示



木製遊具



森のお仕事コーナー



スマートボール



シマエナガ型
バードコール



トンカチ広場



森の香りの手ごね石けん



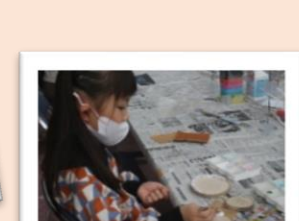
ミニツリーづくり



木の葉の
スタンドグラスづくり



丹頂のオブジェづくり



木の輪切りを利用した木工作



バードコールづくり

クイズコーナー

北海道で主にクリスマスツリーとして、使われる木はどれでしょう。（様々な樹種が使われてはいますが…）

- 1 ミズナラ
- 2 トドマツ
- 3 カラマツ
- 4 シラカンバ

答えは、次ページ、シロエゾコラムの下！



管内の木育イベント情報

管内のホットな木育イベント情報をお伝えするこのコーナー。今回は**2**件のイベント開催報告です。

ご参加ありがとうございました。

令和4年9月24日（土）
食べる・たいせつフェスティバル2022

場所：釧路市観光国際交流センター

箸づくり体験 参加者56名

主催：生活協同組合コープさっぽろ

ブース連携：くしろ西森林組合

釧路総合振興局森林室音別事務所



令和4年11月5日（土）
木育ワークショップ 松ぼっくりツリーに挑戦！

場所：北海道立釧路芸術館

松ぼっくりツリーづくり

参加者：28名

主催：北海道立釧路芸術館



第1回 エステークリアフォレストの森 植樹会・木育教室を開催！

令和4年7月15日に締結したエステ株式会社（東京都）、株式会社北都（釧路市）、釧路総合振興局の3者による「ほっかいどう企業の森林づくり」協定に基づき、記念すべき**第1回目**となる植樹会と木育教室を令和4年10月5日に開催しました！植樹会は、協定対象森林である厚岸町登喜岱（道有林釧路管理区16林班）で実施しました。

地元、厚岸町立太田小学校の5～6年生の児童とともに、秋晴れのもと0.15haに300本のトドマツを植樹しました。

また、記念植樹（エゾノコリンゴ）、看板除幕、記念撮影を行い、短い時間でしたが充実した内容の植樹会でした。

木育教室は、場所を厚岸町生活改善センターへ移し、実施しました。

エステ株式会社の金子フェローが講師となり、トドマツに関する講義や最新のVMSDコンパクト抽出装置のデモンストレーションなどを行いました。

また、**まちまちなんぴつ**代表の五十部氏による、トドマツの木と精油を利用したトドマツの香りがするえんぴつ作りも行い、参加者は木育教室を楽しみました。

ちなみに、この植樹会と木育教室開催前（9/27）と開催後（11/8）には太田小学校で事前学習と事後学習を行いました。

事前学習は、森林のはたらきなどについて勉強し、事後学習は**木育マイスターの高山真由子さん**指導のもと、トドマツの蒸留体験、アロマスプレー製作及び学校林散策を実施しました！

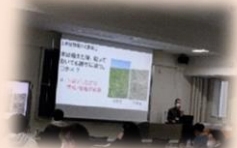


北海道教育大学釧路校における出張講義を実施

令和4年11月24日に北海道教育大学釧路校において、森林・林業・木育に関する出張講義を実施しました。

この講義は、エステ株式会社、株式会社北都、釧路総合振興局の3者による包括連携協定の「森林の大切さの理解向上」に関する事項に基づき、平成28年度から実施しています。

今回は、森林室普及課協力のもと、「森林・林業について」、「木の活用方法と樹種当てクイズ」、「SDGsと森林・林業」の3本立てで、北海道教育大学釧路校2年生約**80**名に講義を実施し、学生からは「子供達が、実際に木のおもちゃに触れることで、木の有用性を理解することに繋がるなど木を使うことで、学びの幅が広がると思った」などの感想が聞かれました。



シロエゾコラム

今回のテーマ：シロエゾって何？

謎が多い木！？

この通信のタイトルにもなっているシロエゾとは「シロエゾマツ (*Picea Jezoensis* Carr. var. *Takedai Tatedaki, n. v.*)」という木のことで、

今回のコラムは、「シロエゾマツがどんな木なのか」を見ていきましょう。

シロエゾマツはエゾマツの品種または変種とされており、樹皮は灰白色でうろこ状の裂け目がない（アカエゾマツやエゾマツはうろこ状の裂け目がある）ため、パッと見はトドマツに見えてしまうのではないのでしょうか。（個体差あり）

天然分布は、北海道及び樺太で確認されていますが、天然林では特異な存在であり、個体数の減少が見通されたことから、国有林や道有林内に保存林や保護林が設定されています。

材質に関しては、「釧路・厚岸方面の造船業者達は、加工しやすく、柔軟性があり、弾力性に富む木材として、“シロシンゴ”の名のもとに大変重宝していた。」ということです。

管内では、釧路市阿寒町阿寒湖温泉地区の国有林内にある**阿寒湖畔シロエゾマツ遺伝資源希少個体群保護林**、厚岸郡浜中町の道有林内にある**シロエゾマツ保護林**で見ることができますが、いずれも、林内の立ち入りに関しては、それぞれ所管する根釧西部森林管理署と釧路総合振興局森林室に問い合わせてください。

また、数は少ないですが厚岸町の**厚岸樹木園**でも見ることができ、こちらは誰でも自由に見学が可能です。

ということで、研究報告等も少なく、生態や育林上の特性についても不明な点が多く謎が多い木ですがシロエゾマツという木をぜひ知ってもらえたらと思います。

クイズの答え：2 トドマツ(アカエゾマツも多いです。)



担当者から…

第45号発行から約3ヶ月、第46号を無事に発行できました。前号は4年ぶりの発行再開でしたが、好評の声もいただき、今号の編集の励みになりました！皆様からの感想が担当者の力になりますので、感想お待ちしております！もちろん、「こうしたほうがいい」や「こんなこと載せてほしい」という意見もお寄せください！皆さんの声を反映していきます！それでは、第47号でまたお会いしましょう！！

次号の発行日は未定ですが…年度内の発行を目指します笑